

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 9/6 第16号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

教育実習

8月26日(月)から教育実習が始まりました。今年は、社会科の糸井 桃香先生、美術科の中井 亮先生と宇都宮 唯先生、英語科の小林 祐作先生の4名が来られています。糸井先生は2年2組、中井先生は2年4組、宇都宮先生は2年1組、小林先生は1年3組を担当していただきます。8月26日(月)の朝学活時に放送で糸井先生が代表して全校生徒にあいさつをしてもらいました。元気な声であいさつされ、先生の前向きな気持ちを感じられました。生徒の皆さんも気軽に声をかけたり、話しをしてください。期間は、9月13日(金)までの3週間です。充実した実習になることを願っています。

自然について考えること

最近の新聞に、沖縄県の石垣島へ知人に連れられ訪れ、今は石垣島で暮らしている方のエッセイが載っていました。この方は、釣りが趣味で、石垣島へ行く前に知人から釣り方を教えてもらったそうです。石垣島では、干潮で遠浅になったサンゴ礁に腰までつかってルアーを遠投するらしいのです。知人は「魚と水平方向でやりとりするんです。港での垂直方向の釣りとは一味違う面白さですよ」と言っていたそうです。「カンモンハタ」という肉食の魚がよく釣れるそうなのです。しかし、石垣島での釣りは思いのほか、むずかしかったらしくルアーをうまく操れませんでした。そして、東京に戻ると知人の言葉もいつしか忘れていきました。

時が流れて、その方は何かの縁で石垣島に住むことになるのですが、最初は港からの垂直方向の釣りがほとんどでした。その時、ふと思い立って干潮の日にサンゴ礁に出てみるとあれほど苦戦したのがうそのように、あっけなくカンモンハタが連れたそうです。その後はサンゴ礁でのルアー釣りにのめり込んでいきました。一方でこの方は、海の怖さを思い知ることになります。知らず知らず沖に進んでしまい、気がつくと胸まで水が来ていて危うく戻れなくなりそうになったり、泳いで帰ることもあったそうです。干潮から潮が満ちる速度が想像以上だったのです。こんな経験をして魚との「水平方向のやりとり」は、魚と対等に向き合うことだと感じられます。そして、人間も自然の一部だということを改めて痛感されたのです。

現在の社会では、人間は「自然は人間の力でコントロールできる」という思い上がりに近い考えが広がっているように思います。自然をコントロールするのはたやすいことではないのです。人間も自然の一部という意識をしっかりと持ち、自然環境を守る必要があると思います。エッセイを読んで、今一度立ち止まって、自然と人間の関係を見つめ直したいと感じました。

放送コンテスト・夏季選手権大会の結果

前号で掲載できなかった放送コンテストと夏季選手権大会の結果をお知らせいたします。

- NHK杯全国中学校放送コンテスト アナウンスの部 京都大会
KMさん 最優秀賞受賞 全国大会に出場
- 体操の部 KYくん 京都市大会 個人総合優勝
種目別 鉄棒 第1位 ゆか 第1位 跳馬 第3位
京都府大会 個人総合第6位 種目別 ゆか 第3位
- ワンダーフォーゲル部(踏査競技会) 男子 団体 第3位
個人 IRくん・MRくんペア 第5位
女子 団体 第3位 ※女子の個人賞は該当なし